



学校法人木の実学園 SDGs宣言

当学園は、「豊かな人間性を培う教育の提供」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年12月28日
学校法人木の実学園
理事長 中矢 謙一郎



重点項目(ターゲット2030)

健全な子どもの育成を考えた保育活動

様々な行事や体験を通じて、健康でたくましく頑張る子どもの育成に努めます。安全第一の豊かな教育環境の中で、豊かな人間性を培う保育の実現を目指します。

【主な取り組み】

木の温もりを感じられる園舎、温水プール、全天候型プレイコートの設置、自然体験学習、事故防止・事故対応マニュアルの策定



環境教育を通じた環境保全

環境意識を育む教育を心掛け、未来の世界を生きる子どもたちに環境保護の大切さを伝えます。環境負荷低減に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。

【主な取り組み】

デマンド監視・スマートクロック設置による電力使用量の把握と節電対応、廃材倉庫設置による3R実践、節水の励行、ペーパーレス化の促進



誰もが安心して働ける職場づくり

従業員一人ひとりの個性やライフスタイルを尊重し、心身ともに健康で安心して働ける職場づくりに取り組みます。現場の声に耳を傾け、働きやすい職場環境の提供に努め、従業員エンゲージメントの向上を目指します。

【主な取り組み】

ライフステージに応じた柔軟な人材配置・勤務形態の導入、ハラスメントに関する研修、メンター制によるメンタルヘルスケア、職場環境改革の実施



地域社会への貢献

法令遵守を徹底し、地域の皆さまからの信用・信頼にお応えします。地域社会とのつながりを大切に、地域貢献活動や地域課題の解決に取り組めます。

【主な取り組み】

経営理念・教育方針の明文化、園則に基づく重要事項の決定、まちづくり協議会への参加、災害時における避難所としての園舎提供、地域行事への積極参加



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。